

沖縄県空手道連盟 新型コロナウイルス感染防止ガイドライン
(第14回沖縄県中学生春季空手道競技大会)

大会主管：沖縄県中体連空手道専門部

1 会場に入場できるのは、申込用紙に登録された「選手・監督・コーチ・競技役員」および「大会主管が認めた者」とし、以下の内容を遵守すること。

- (1) 以下の事項に該当する場合は、大会参加を見合わせる。
 - ① 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛など）
 - ② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 全ての入場者は体育館の入口で、「健康状態申告書」を受付に提出し、IDカードを受け取る。
- (3) 入場者にはマスクの着用を義務付ける。また、館内での会話は必要最小限に留める。
- (4) トイレの使用時においては、便器の蓋がある場合は閉めて汚物を流すようにする。
- (5) すべての場面において、3密（密閉・密集・密接）とならないような行動をとる。
- (6) ドリンクを冷やすためのクーラーボックスは使用を禁止する。
- (7) ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、各団体に持ち帰る。
- (8) 各団体の監督は「感染対策責任者」となり、大会終了後に関係者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は速やかに大会主管に報告すること。
- (9) 大会中における他者との接触状況を覚えておく。（誰と、どのくらいの距離、会話時間、マスク着用していたか、など）

2 会場内では、以下の対応を大会本部で行う。

- (1) 入場者数の管理担当者を指名し、体育館入口にて入場の制限を行う。
- (2) 換気管理担当者を指名し、常時、すべての窓を開放し換気を良くする。
- (3) 消毒担当者を指名し、適宜、アルコール消毒液で以下の箇所を消毒する。
 - ① ドアノブ
 - ② 手洗い場
 - ③ トイレ
 - ④ 更衣室
 - ⑤ 競技用具
- (4) アルコール消毒液を以下の場所に設置する。
 - ① 会場入口
 - ② 各試合場（コート）
 - ③ トイレ
 - ④ 更衣室
 - ⑤ 大会本部
- (5) トイレ、手洗い場にはペーパータオル（使い捨て）およびポンプ式の液体石鹸を設置する。
- (6) 選手、役員などが集合する場面では、2m程度の間隔を空ける指示を行う。
- (7) 各団体の待機場所を指定する。
- (8) ゴミ収集の担当者を指名し、マスクと手袋を着用した上で業務にあたらせる。手袋は本部で準備する。

3 競技における留意点として以下を定める。選手・審判・競技役員は遵守すること。

- (1) 実施中の競技に出場する選手のみ、1階競技フロアに入場させる。
- (2) 競技開始前の集合・整列は行わない。選手は試合直前に試合場（コート）に直行する。
- (3) 以下の内容は禁止とする。
 - ①円陣、握手、ハイタッチ、抱擁など密着に関わること
 - ②競技用具、タオル、飲用ボトルの共用
 - ③声を出しての応援（応援は拍手のみとする）
- (4) 選手・審判・競技役員は必要最小限の会話とし、距離をとって対面会話を避ける。
- (5) 審判および競技役員の所定の位置は1.5m～2mの間隔をとる。
- (6) 適宜、競技用具および競技マットをアルコール消毒液で消毒する。

4 その他の留意点

- (1) 開会式は行わない。競技開始の合図を館内放送で行う。
- (2) 館内での昼食は十分な距離を保って食事をする。
- (3) 閉会式は行わない。入賞者は競技終了後に各自で賞状を本部で受け取る。
- (4) 熱中症のリスクを避けるために、こまめな水分補給に心がける。
- (5) その他、各自治体・使用施設のガイドラインを確認し、遵守する。